

令和6年度第2回亀岡市総合計画審議会 議事要旨録

日 時:令和7年3月 17 日(月) 午前10時 30 分～11 時 30 分

場 所:亀岡市役所6階602・603会議室

出席者:会長

A 委員、B 委員、C 委員、D 委員、E 委員、F 委員、

G 委員、H 委員、I 委員、J 委員、K 委員、L 委員、M 委員

欠席者:N 委員、O 委員、P 委員、Q 委員、R 委員、S 委員

議 題:1. 開会

2. 議事

(1)令和6年度の行政評価結果について

(2)令和7年度の進行管理及び行政評価について

3. 閉会

1 開会

事務局

委員の半数以上の出席により、本審議会が成立している旨、報告する。

本審議会は原則公開にて開催させていただく。

2 議事

事務局

亀岡市総合計画審議会条例第5条第1項に基づき、会議の進行は会長にお願いする。

(1)令和6年度の行政評価結果について

会長

議事1、令和6年度行政評価結果について、進行管理部会長 K 委員から報告を願う。

K 委員

今年度は第5次亀岡市総合計画の進行管理がスタートして3年目となる。

令和 6 年 6 月 27 日に開催した第 1 回進行管理部会において、本年度の行政評価対象事業として 6 つの事業を選定した。

8 月 28 日に開催した第 2 回の進行管理会においては、霧の工坊、エコトピア亀岡、西川や宮ノ谷川での現地視察を行った。

10 月 8 日に開催した第 3 回の進行管理部会においては、所管課から事業説明及びヒアリングを実施した。

12 月 24 日には事務局において理事者ヒアリングを実施された。

3月7日の第4回進行管理部会において、令和5年度の行政評価の取りまとめ
たところである。

令和6年度行政評価結果について詳細を事務局から説明をお願いする。

事務局

資料②(第5次亀岡市総合計画令和6年度行政評価シート)に基づき報告

会長

議事1について質問や意見があればお願いする。

〈質問・意見なし〉

ただいま、議事1を資料②に基づき説明、報告がありましたが、進行管理部会を進
めていただいた中で、全体を通じて補足事項などありましたら、コメントをお願いする。

K 委員

移住・定住について、市街化調整区域などの制度によって農家以外は住むことが
できないことが移住する際にハードルになっている。移住希望者に制度についてしっ
かり説明することが重要である。

消防団について、消防団だけではなく災害ボランティアのような仕組みづくりの提
案があった。

スポーツについては、神戸市での部活動廃止の取組や関心度の高さから生涯スポ
ーツがいろいろな世代にとってこれからますます重要になると感じている。

北九州市のエコタウンセンターについては、環境学習や視察対応をされているが、
亀岡市も北九州市と同様にSDGs未来都市に選定されており、エコトピア亀岡も全
国でも先進的な取り組みをしている。亀岡市と受託業者が一緒になって労働環境の
改善に取り組んでいただきたい。

亀岡市の様々な施設で指定管理による民間委託がされている中で、うまく機能し
ているか、市民の満足度につながっているのか、来年度改めて考えていきたい。

今後も皆様からの意見をいただけるよう、引き続きよろしくお願いしたい。

I 委員

ふれあいスポーツデーをきっかけに運動習慣やスポーツを継続することが重要で
ある。亀岡市内の運動クラブやプログラム等の情報を伝え、運動を継続してもらう働
きかけをした方が良い。

A 委員

消防団について、地域の方にとっては消防団員の顔が見えない、消防団活動が
わからない、ということがある。地域行事も減ってきましたが、消防団員が地域活動に
参画することが減ってきた。以前地域の祭りの中で、消防団と地域の方と備蓄食の試
食等のイベントをした際に、団員の方と直接顔を合わせて交流ができた。市全体の取
り組みも大事だが、地域での小さな取組から、つながりを持つことが大切である。

空き家に対して市からのPRを今後も進めてほしい。空き家を置いておくことは防
犯上の問題もある。

G 委員

なぜ空き家を手放すことに対するネガティブなイメージを持っている人が多いのか。

K 委員

空き家を手放すことで、金銭的に余裕がないと思われたり、知らない人を地域に招き入れる責任や後ろめたさを感じている。空き家を次の方に引き継ぐという意味で、ふるさとを離れても地域に貢献できるという良いイメージに変えていく必要があると考えている。

G 委員

地域の方のその発想自体が移住者を受け入れる地域としてマイナスになっている。マイナスな発想・空気を一掃するような取り組みが必要である。

K 委員

誰かが一度その壁を乗り越えると周囲にも理解が広がる。

J 委員

移住者は「〇〇さん(前の住人)の家の人」と認識をされる。地域では以前の住人と代々繋がっていた共同体のような意識があり、ネガティブな印象を持たれることがあった。しかし、移住者が増えつつある中で、少しずつ地域の方の認識も変わってきたように感じている。

M 委員

長く住んでおられる方は、世代によっては先祖代々受け継いでいるという認識を強く持っているように感じる。しかし、移住者が住むことによって、意識は徐々に変わってきている。

H 委員

移住者が地域に入るとそこに住む人の認識は確実に変化する。その地域に住みたいと思う方に対してアプローチする仕組みが大事である。

会長

最初は抵抗感があっても、少しずつ変化すると考える。

(2)令和6年度の進行管理及び行政評価について

会長

議事2、令和6年度の進行管理及び行政評価について進行管理部会長 K 委員から説明を願う。

K 委員

令和6年度の進行管理及び行政評価については、昨年度と引き続き、環境配慮の観点からできる範囲でペーパーレスを推進し、会議資料の電子化に取り組んだ。

令和7年度についても、基本的には今年度の取組を継続していく予定である。
令和7年度の具体的な取組予定について、事務局から説明をお願いします

事務局

資料⑤(令和7年度 亀岡市総合計画審議会・進行管理部会 年間予定表)に基づき報告

会長

議事2について質問や意見があればお願いします。

〈質問・意見なし〉

全体を通して何か質問、意見はあるか。

〈質問・意見なし〉

3 閉会

以上